

満足度アンケート 結果発表

先日 利用者の皆さまにお答えいただいたアンケートの集計結果が出ました！
結果はご覧の通りです！

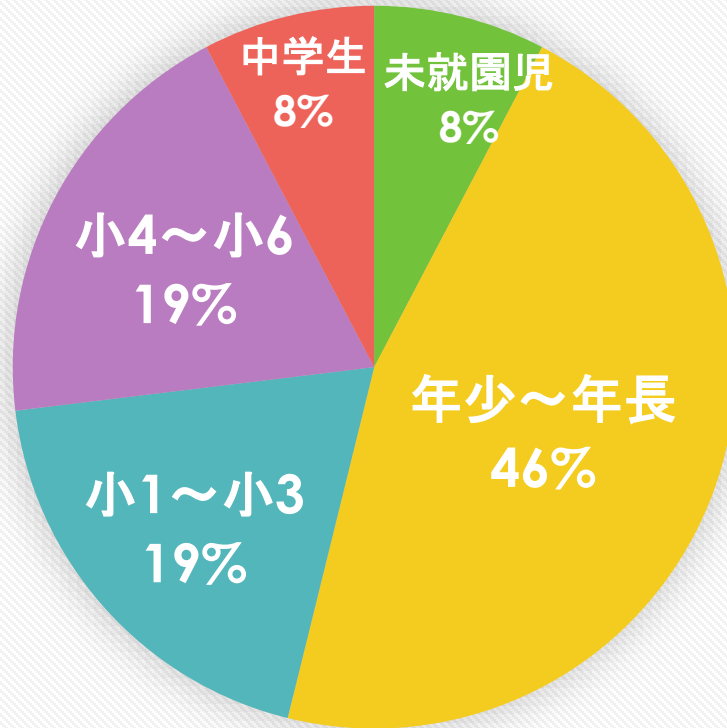
■ 調査要領

- ・ 調査対象：利用者
- ・ 調査方法：アンケート
- ・ 調査期間：令和4年1月30日～令和4年2月12日
- ・ 総回答数：52件／利用者数 55名

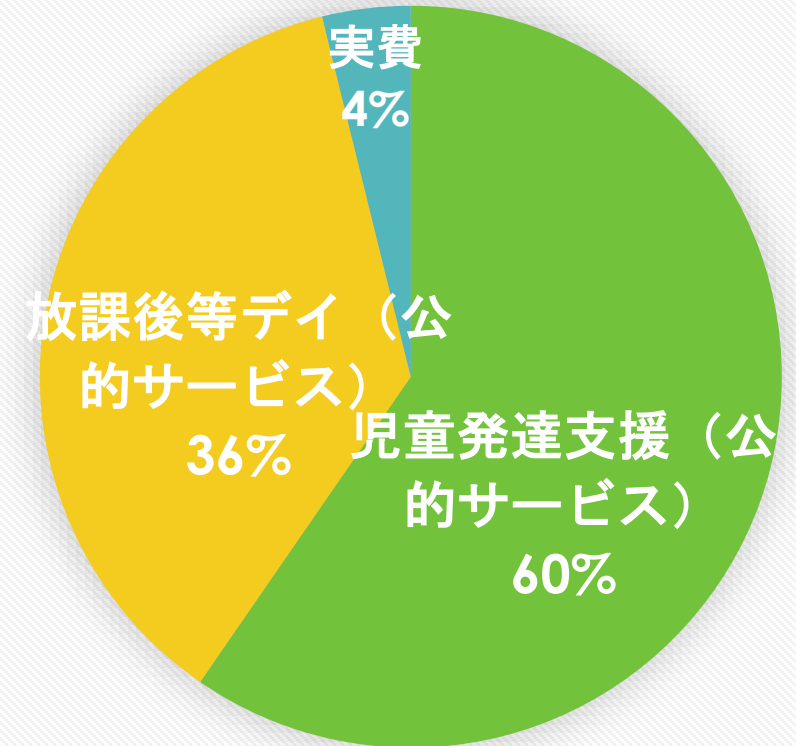




① お子様の年代は？



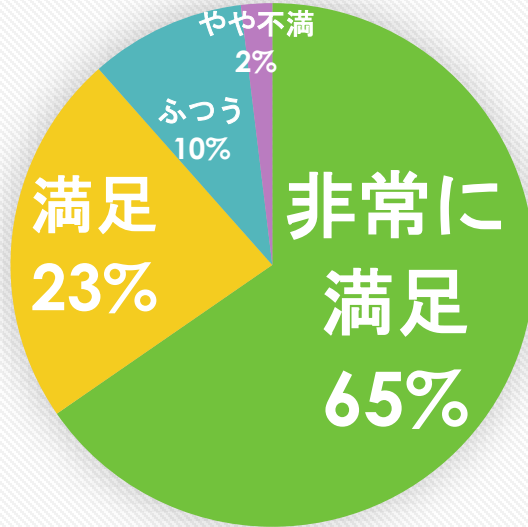
② お子さんの利用しているサービス形態は？



小集団療育について



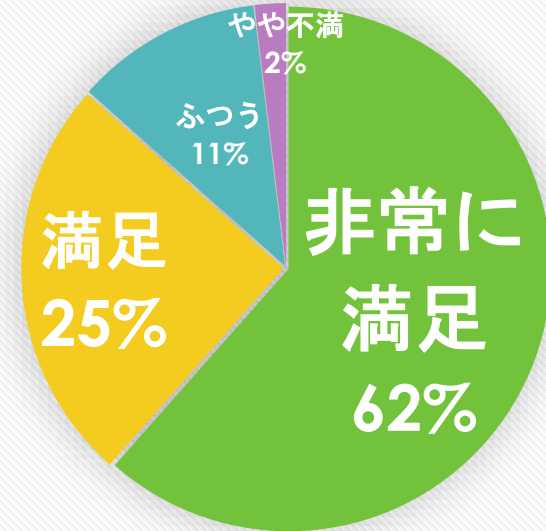
① 通わせて良かったと思いますか？



88%の方が通わせてよかったと答えていました。小集団療育は、他者との社会性という点を重点的に示しています。一対一ではできない子ども同士のやり取りを広げられる支援を行っていききたいと思います。



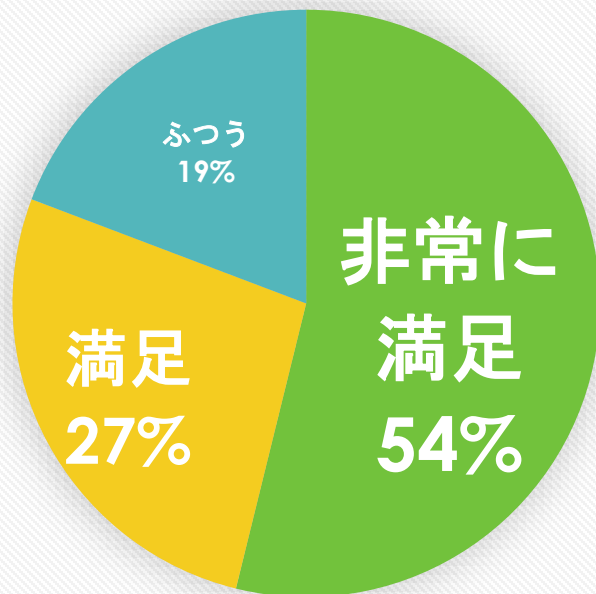
② お子さんと一緒に療育に関わることで、お子さんへの理解（特性）が進みましたか？



87%の方が「非常に満足、満足」と答えていました。小集団療育では、集団の中でのお子さんの様子も見ることができるため、様々な視点からお子さんを見て、特性に合った関わり方を一緒に見つけていきたいと思っています。



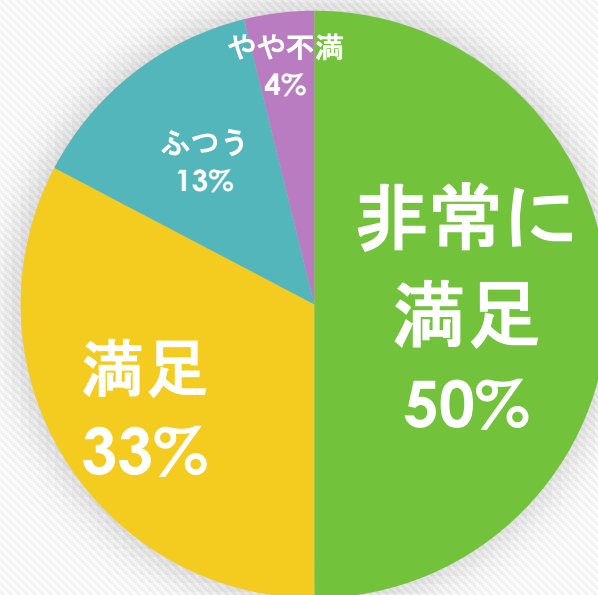
お子さんは通うことを楽しみにしていますか？



81%の方が楽しみにしていると答えていました。学習効果を上げるためにも、楽しみは非常に重要だと考えています。もっと『おもしろい』と感じれるように今後の支援の中に反映していければと思っています。



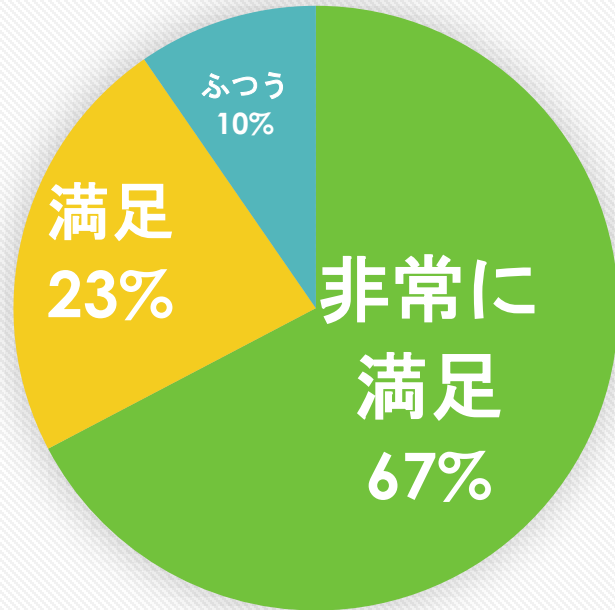
通うことで、保護者の不安は改善されましたか？



83%の方が不安が改善されたと答えていました。小集団療育では、一人一人の保護者の方とゆっくりお話できる時間が個別療育よりも少ない分、支援者同士連携し合って、些細なお話も聞き取れるよう、努めてまいります。



通わせてお子さんは伸びましたか？



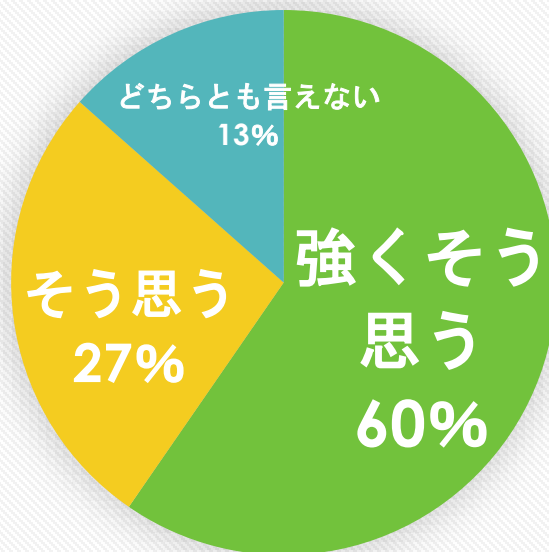
90%の方がお子さんは伸びたと答えていました。週を重ねるごとにお子さん同士が少しずつ関わっていく姿に大きな成長を感じます。集団生活が、より生活しやすくなるよう全力でサポートできる支援を行ってまいります。



家族支援・相談について



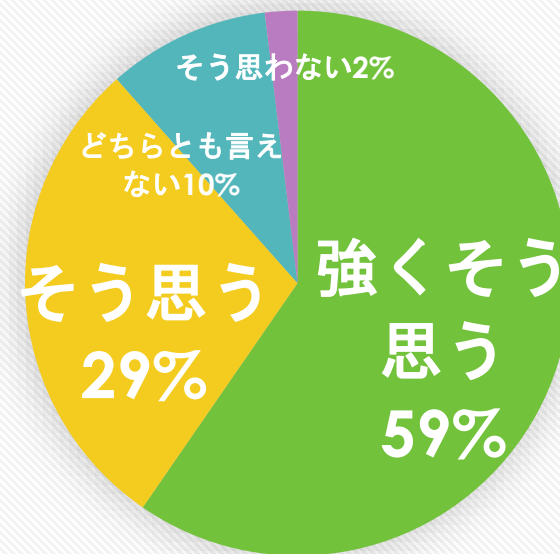
困ったことがある時、スタッフに
相談・アドバイスをもらえますか？



87%の方が相談アドバイスをもらっていると答えていました。保護者の方にお子さんのフィードバックを伝えながら職員の相談援助のスキルを上げるよう努めてまいります。



家庭での子育ての対応・助言を
もらえますか？

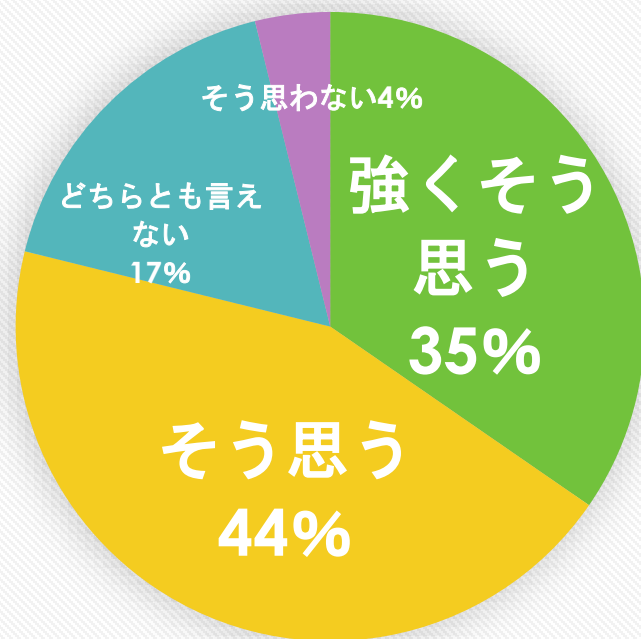


88%の方が子育ての対応・助言をもらっていると答えていました。ご家庭での様子を聞き取りしつつ、対応と一緒に考えていきます。





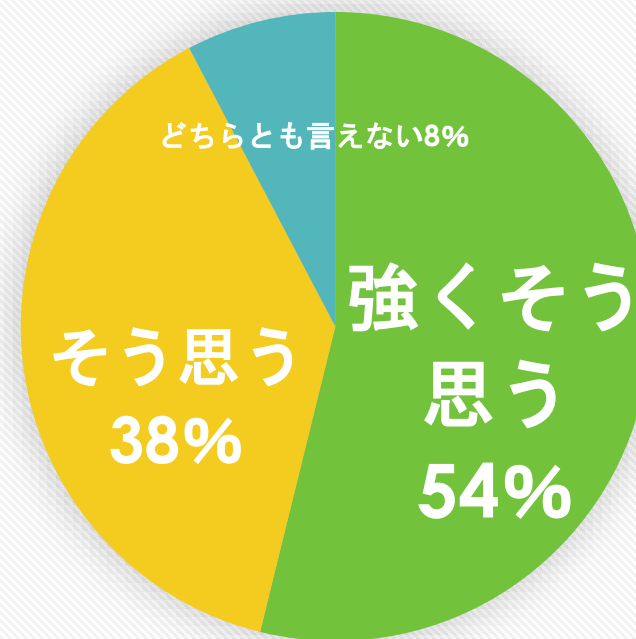
保護者同士で話せるイベント（茶話会・座談会）を設けていると思いますか？



79%の方がイベント開催できているかに対して「強くそう思う、そう思う」と答えていました。コロナ禍という状況もあり、開催が難しいこともありました。様々な開催方法を検討していきたいと思います。



定期的に学習会・イベント広報誌等のお知らせをもらえていると思いますか？



92%の方がお知らせをもらえていると答えていました。今後も保護者向けの学習会やペアトレ等を行っていきます。随時お知らせできるよう取り組んでいきます。

療育・相談・学習会等に関して感想・意見・要望等 があれば自由にお書きください

- ・ 本人が通うことをとても楽しみにし、積極的に取り組めているので、親としてもとても嬉しく思います。
- ・ セッションに親が同伴するシステムは基本的には良いと思うが、時々（買い物などの気分転換の理由で）気軽に子供を預けられる様になると、より良いと思う。
- ・ いつも子供のために沢山のことを考えて頂き、大変感謝しています。
子供はそれなりに楽しんでやらせて頂いているのですが、こちらで先生方に教えて頂いたことを実生活で活かすのがとても難しいなと感じています。
子供も習い事のような感覚で、一つの単元が終わったら次！と切り替えてしまっている様子が見られて、親の私が、これを生かせると良いねと話してもあまりわかってくれません。
今やっていることが、自分の生活や人生につながっていることなのだという意識づけを療育の中で軽くやって頂けると嬉しいなと思います。
- ・ 学習会等を土曜日に開催して頂けると参加出来るので、土曜日の検討もお願いさしたいです。
- ・ いつも楽しく通わせて頂いています。ありがとうございます。



- ・小集団のご褒美について。

以前は偏食指導で苦手な物を食べて、最後に好きなお菓子がもらえるという主旨でやっていたと感じております。

今は最後に個包装のお菓子が貰えるやり方になりました。

コロナが流行してから口に入れる物に関してとても神経質になりました。食材やお菓子を触る前後に手洗いをしたり、物によってはアルコールのウェットティッシュで拭いたりしています。【潔癖症なところがあり、気にしすぎなのかもしれません】

出来たら食べ物ではないご褒美のが安心です。個包装のお菓子よりコストがかかる為難しいようでしたら大丈夫です。

【参考例】

歯医者で子供にご褒美をくれる所がありました。

区切り付きのカゴに消しゴム、クリップ、シール、風船〔その場で器具で膨らまし配布〕、ポケットティッシュ、スーパーボール等が入っており、子供が好きな物を選ぶ形式でした。

コロナ流行後は子供が色々触りながら選ぶ為か一切ご褒美はなくなり、待合室のおもちゃや本も撤去されました。

- ・困ったときの相談を個別の時にすることが多いが、セッション時間が短縮されてしまうのが少し気になります。



・下の子に関してはまだ通い始めて1ヶ月ですが、毎週通うたびに成長を感じます。本人も褒められるのを喜んでモチベーションにしており、パカパカで行った課題だと家でもやってみようかなという気になるようで先生の凄さを日々実感です。

※小集団療育は始まっていないため、全て普通で答えております。空欄だと送信できなかったため、申し訳ありません。

・何より本人がパカパカが大好きで、毎週親子で楽しみにしています。どの先生に当たっても皆様本当に素晴らしく、頼りになります！！母自身もパカパカに通うことで悩みを吐けるようになり、「人に頼っていいんだ」と思考の方向転換ができるようになりました。どんな相談に対してもの的確にアドバイスを下さり、子供の成長に関しては手放しで喜んで下さるパカパカに毎日感謝しかありません。今後ともよろしくお願いします。

・困っていること、悩んでいること、分からないことがあれば気軽に相談や教えてくれたり、対応もして下さい本当に通って良かったと思っています。
また、通うことによって、子どもも少しずつできること増え嬉しく思っております

皆さま、ご協力ありがとうございました！

